

埼玉医科大学(前期) 英語

2026年 2月 8日実施

1

- 問 1. ③ 問 2. ① 問 3. ④ 問 4. ② 問 5. ①
問 6. ③ 問 7. ④ 問 8. ③ 問 9. ② 問 10. ④

【解説】

問 1. insist は insist on [名詞] もしくは insist that S V～と続く。[前置詞] の直後には目的格が置かれるが、目的格（もしくは所有格）を意味上の S とするのは V-ing～。[目的格/所有格] V-ing～で「[名詞] が～すること」。因みに to V 原～は「[名詞] が～する」という形を取りたい場合、for [名詞] to V 原～とする。その点で②はおかしい。

問 2. so [形容詞] a [名詞] that S V ～ で「とても [形容詞] な [名詞] なので～」。such の場合は直後に a [形容詞] [名詞] that S V ～ が続く。

問 3. A day と言われただけでは「どんな日」か分からないので関係副詞 when で修飾する。when 以下は [形容詞] の塊を作るので、will が節中にあっても構わない。

問 4. should have Vp.p.～で「～すべきだったのに」もしくは「～したはずだ」と現在の地点から過去のことを推測したり判断したりする。when I warned と後ろに続くので、過去のことを言っている文章にしなければならない。

問 5. thrilling を thrilled に変える。感情表現が Vp.p.の形で使われているときは「～た」と訳し、感情表現が Ving の形で使われているときは「～させる」と訳す。thrilling だと「わくわくさせる」となり、対象が必要になる。

問 6. feel like V-ing～で「～したい気がする」。動名詞の熟語。

問 7. have it repaired とする。have O Vp.p.～で「S は O を～してもらう」、「S は O が～される」、「S は O を～してしまっている」という訳になる。it は repair される側。

問 8. contribute to [名詞] で「[名詞] に役立つ」など。contribute の後ろの to は [前置詞] なので直後に [名詞] がくる。

問 9. 「原因」 That is why 「結果」という構造で使われる why を入れると文意が成り立つ。

問 10. help は help (to) V 原～と to を省略することができる。因みに help prevention とすると、その後に serious illness という [名詞] が続いていることがおかしい。[名詞] を 2 つ続けても「深刻な病状を治す」とはならない。

2

- 問 1. ① 問 2. ③ 問 3. ④ 問 4. ④ 問 5. ③
問 6. ② 問 7. ③ 問 8. ④ 問 9. ③ 問 10. ②

【解説】

問 1. 第 1 段落 1～3 行目の内容に合致。

問 2. 語法上はすべて正しいが、第 3 段落 1 行目に「影響を受けやすい」とあるため、これしかない。

問 3. 直後にも avoid outdoor activities とあることから、日光にさらされることは避け

る，というような内容しかない。

問 4. I～Ⅲのどこにも入らないという事もあるが，**This is due to ...** の因果関係として，「熱を吸収する」の結果としては，「温度上昇」が来ると分かるだろう。

問 5. 最終段落 1～3 行目に合致。

問 6. そもそも子供への熱波のリスクが **lower** な訳なかろう。熱波に影響を受けやすいからこそ，どうするかという本文全体の概要がつかめていれば容易。英文の末尾にある URL からも自明。

問 7. 「UNICEF へしたメールの理由」が問いである。つまり，返答メールを見れば，答えはわかってしまうだろう。まず，第 1 文目に「**asking us for advice**」とある。2 文目に，**some essential ways** とある。その 2 つを考えれば容易。もちろん，最初のメールを見てもいいが。

問 8. 1 文目の具体例が 2 文目以降で書かれている。**Create cool, shaded spaces** など考えれば，④しかないだろう。

問 9. — の前に「小さな行動を大きな変化をもたらす」とある。— の働き「付け足し，具体化」を鑑みれば，意味に相違はないことが分かるだろう。

問 10. **Jeff** の返信，第 2 段落 3～4 行目と合致。

3

- 問 1. ② 問 2. ① 問 3. ③ 問 4. ④ 問 5. ③
問 6. ④ 問 7. ③ 問 8. ② 問 9. ① 問 10. ④

[解説]

問 1. 同じ文に，**justify our actions and decisions** と続いているので，その言い換えとしては，②「我々が自分のすることや決定を正当化すること」である。

問 2. 下線部に続いて，**a state of tension that occurs** ～ と説明されているが，それは 2 つの **inconsistent** 「一貫しない」考えを同時に持つことによる心理状態である。したがって，①「それは，2 つの矛盾した認識とともに生じる心理状態である」が正解となる。

問 3. たばこはリスクがあると分かっているながら禁煙できない人は，**justification** として，たばこによって肥満にならないで済むと思い込むようにすることが第 1 パラグラフ後半で述べられている。したがって，③「危険はあるが，価値がある」と考えることで，**self-justification** するということである。

問 4. **Festinger** 氏の理論は，矛盾した認知状態をどのように「こじつけ折り合いをつけて」，日常生活を送っているかについてであるという文脈。**make sense out of** ～ で「理屈をつける」などの意味がある。

問 5. 第 3 パラグラフ第 3 文で，**Their thinking challenged many notions** ～ と述べられており，**Festinger** らの仮説は **behaviorism** を含む当時の有力学説に異議を唱えるものだったことが読み取れる。したがって，③「フェスティンガーとエリオットの考えは当時受け入

れられていた見解に異議を唱えるものだった」が正解である。

問 6. 第 4 段落の子どもや犬の例を読み取ればよい。要は、ご褒美をあげれば、望ましい行動に誘導でき、罰を与えれば望ましくない行動を抑制できるという例から、アメとムチによって行動が決まるというのが行動主義の考え方である。したがって、④「行動主義は賞罰によって大半の行動が説明可能だと主張する」が正解である。

問 7. 前問で説明した行動主義が、人間の場合には必ずしも当てはまらない場合もあることが述べられており、the effects of rewards and punishments と③contradictory「矛盾する」場合もあるという文脈である。

問 8. エリオットは、self-justification によって、行動主義から想定される結論と異なる場合があるという考えをとっている。つまり、苦痛なことであっても、それを正当化することで、人は受け入れられるということである。したがって、苦があってもそれに伴うマイナス面を無視して、プラスの側面だけを見ることで、ある事柄を受け入れるということはある。②「人が何かを苦痛とともに得られれば、それをもっと気に入るだろう」が正解となる。

問 9. 直後の疑問文をそのまま解答根拠にして良い。修辞疑問文と呼ばれる反語のようなものだと考えれば、「なぜ人が苦痛を伴うものを好むだろうか？（いや好むはずがない）」となる。

問 10. 最終段落最後の 4 行から読み取れる。say というのは「例えば」という意味だが、そこから「例えばある集団の一員となってその後、退屈で価値がないと感じたら、その行為に意味があったと考えるようになる」と書かれているがこの一連の流れこそが dissonance theory である。

4

- 問 1. ③ 問 2. ① 問 3. ① 問 4. ④ 問 5. ②
問 6. ③ 問 7. ③ 問 8. ④ 問 9. ② 問 10. ④

[解説]

問 1. 下線部は、「多くの予防策」という意味である。第 1 段落 2 文の including 以降に詳細が書かれているので、③の These measures, including social distancing, were recommended to keep COVID-19 from spreading. が正解。

問 2. 空所の後ろにある of facial coverings から、effectiveness「有効性」を選ぶと、「顔を覆うことの有効性」となり、文意がとおる。

問 3. 第 2 段落 2 文に、In East Asian countries, where for at least 100 years. と記述があり、① In East Asian countries, mask-wearing was introduced about 100 years ago. 「東アジアの国々では、マスクの着用が約 100 年前に導入された」との記述と整合しない。

問 4. 下線部の lay theories は、「素人の理論」という意味。下線部直前の these theories are not necessarily based on scientific evidence or systematic investigation「これらの理論は、科学的理論や体系的調査に必ずしも基づいているわけではない」という記述と、空所

を含む文の some と others の対比関係から、④ scientific「化学的な」を選ぶ。

問 5. 空所を含む文の前文から、マスクを着用することに対する研究について述べていると判断する。the degree to which obscuring the lower part of the face ... とすると、文脈に合う。

問 6. Yuki and others (2007)の研究では、日本人とアメリカ人の感情の認識の差異が調査されており、第 3 段落 6 文に、They proposed that some cues may be more informative than others in inferring a target's emotional state, particularly in Japan, where context-dependent cultural norms regulate the expression of emotion. とあり、③ They presumed that there are some physical cues for understanding others' emotional state, and those cues are equally informative for Japanese. と一致しない。

問 7. relative to A「A と比較して」は、compare to A「A と比較して」と同意。

問 8. 下線部の a similar effect は「同様の効果」という意味。下線部がある第 5 段落 2 文には、In addition, if Japanese are more sensitive to emotional expressions in the eyes, then face coverings that obstruct the eyes, such as sunglasses, may have a similar effect among Japanese. とあるので、④ Japanese would be less willing to wear sunglasses than Americans.「日本人は、アメリカ人よりもあまりサングラスを着用したがるだろう」を選択する。

問 9. 最終段落 3 行目末尾の Based on 以降を解答根拠とすれば解くことができる。日本人は目から、アメリカ人は口元から情報を得ている。

問 10. 第 4 段落第 1 文目より failed to explain がおかしいと示唆しているうえに、prove したという文言も本文中にはなかった。

【総評】

直近 2 年間と同様、文法 1 題＋長文 3 題の 4 題構成であった。大問 1 は、適語補充 4 問に加え誤謬訂正 4 問、短いパッセージ中の空所補充が 2 問出題された昨年度の新傾向をそのまま踏襲した。難易度は例年並みに低く、なるだけ落とさないことが望ましい。長文は、難化した昨年度とは対照的にかなり易化した。特に大問 2 の「熱波とその対策」、大問 4 の「伝染病の予防でマスクをつけたがるかどうかの国民性」は、受験生にとっても身近なテーマであり取り組みやすかったであろう。強いて言えば大問 3 の「認知的不協和」だけ、やや抽象度が高く読みづらかったかもしれないが、選択肢は素直なものが多いため根拠となる箇所を見極めやすく、総じて平易と言える。一次通過には 70～75%程度の得点が望まれる。

26 年度解答速報はメルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校

YMS

☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ

福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録



LINE 登録

